

石田雨圃子 松蔭俳人。明治十七年一月二十七日富山縣生れ、昭和十七年一月十二日歿（八四—九五）。本名慶封。北海道旭川の慶誠寺住職。初の『萬朝報』、渡邊水巴主宰誌『俳諧草紙』、中野三九主宰誌『アラレ』等にて投句、また河東碧梧桐の新傾向に赴くも、大正九年以降高濱虚子に師事。主宰誌『石狩』百號記念として句集『看経餘録』を出版。虚子序文に「北海道に於ける我俳句の鎮臺」とある。

